



国際物流管理士資格認定講座 について

(公社) 日本ロジスティクスシステム協会 (JILS)
国際物流管理士資格認定講座 担当 中川綾子

目次：

1. 講座の概要
2. 2025年度開催概要
3. 受講者の声
4. オンライン+集合開催の特色
5. オンライン講義のイメージ
6. 資格認定について
7. (お願い) 受講者環境の整備
8. お問い合わせ先

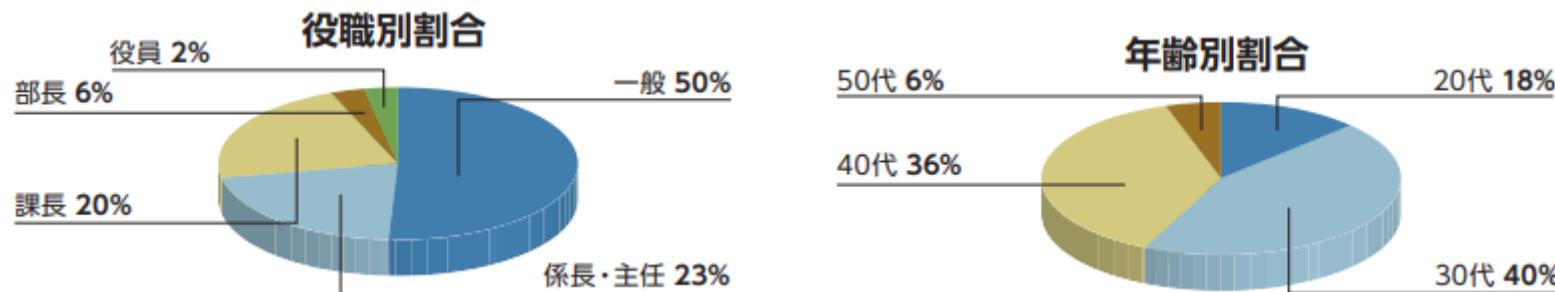
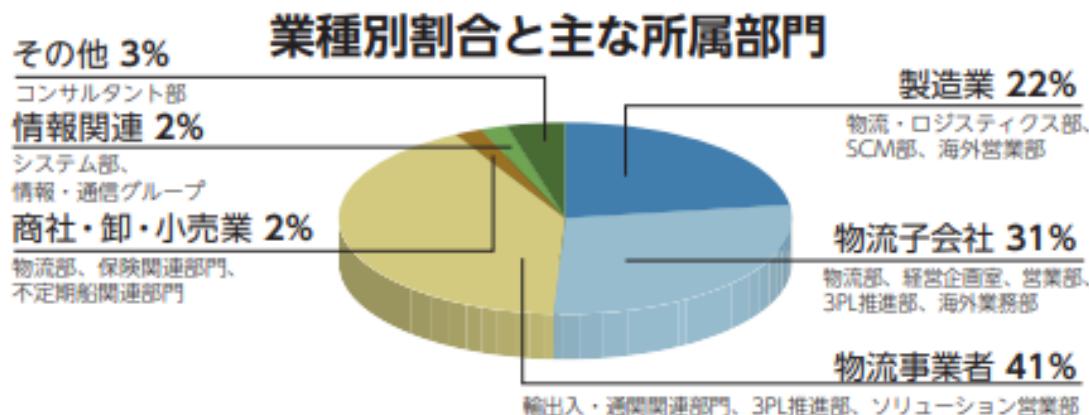
1. 講座の概要

本講座は、わが国唯一の国際物流のスペシャリスト育成講座として、1979年の開講以来、1,678名の「国際物流管理士」を輩出しています。

項目	概要
名称	国際物流管理士資格認定講座
対象	国際物流のスペシャリストを志向する方、国際物流に携わる中堅管理者・担当者
講座の特徴	国際物流の第一線で活躍している実務家やコンサルタント、学識経験者からなる講師陣から、国際物流のスペシャリストに必要な専門知識やマネジメント技術を体系的かつ総合的に学ぶことができます。
資格	講座を修了し、所定の試験に合格した方には、「国際物流管理士」の資格を授与します。
日程	2026年9月～2027年3月（全9単元・18日間）
受講料（税込）	JILS会員：484,000円、会員外：605,000円 ※有資格者割引有 ■単元聴講も可能です。（第1・9単元を除く）※単元価格の設定あり
後援（予定）	経済産業省・国土交通省

1. 講座の概要（受講者の属性）

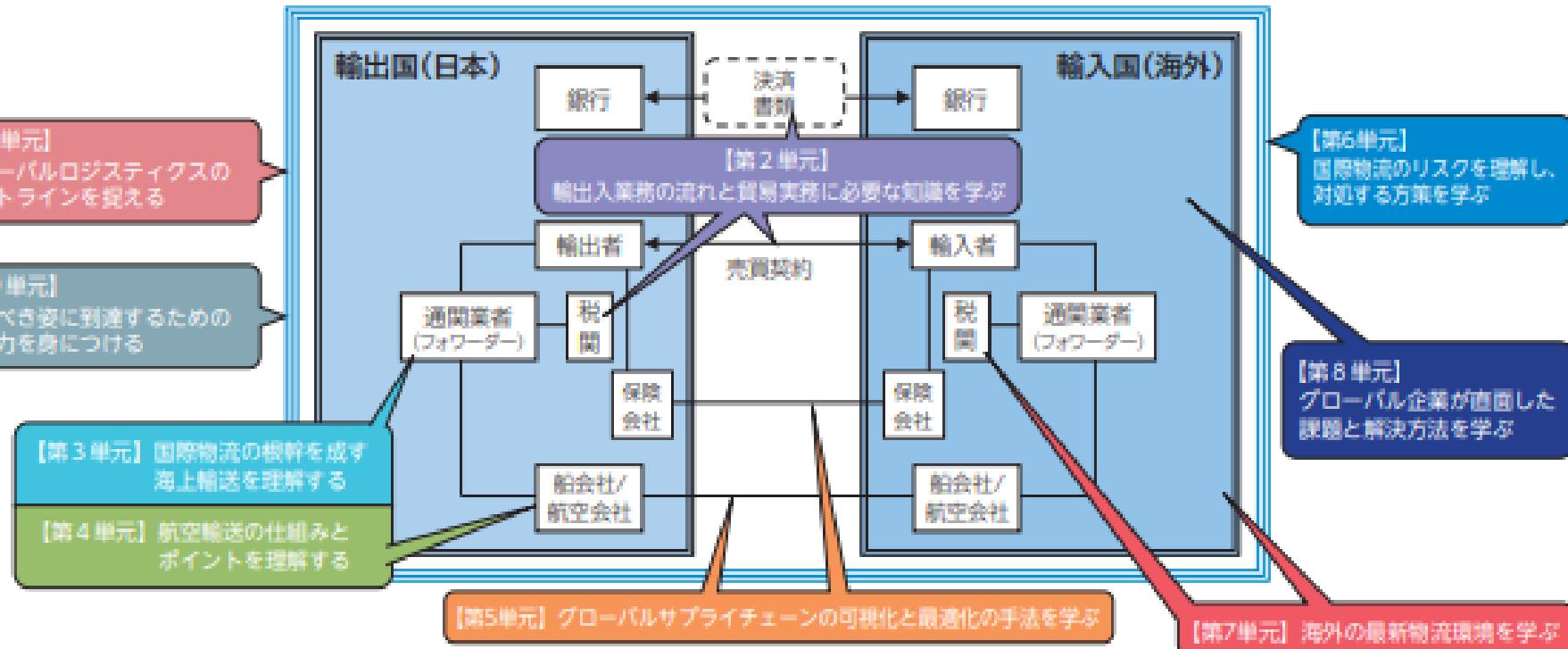
本講座は、国際物流に携わる様々な立場の方が受講しています。
交流を通じて、国際物流の多様性を理解することができます。



2. 2025年開催概要（講座の体系）

「国際物流管理士資格認定講座」では、国際物流をリードする人材に必要な知識を体系立てて学びます。

「国際物流の領域」と各単元の位置づけ (日本からの輸出の例)



2. 2025年開催概要（前半テーマ）

前半の単元では、国際物流に関する基本知識を習得します。
グループ討議を通じて、多面的な捉え方を理解します。

単元	テーマ	日程
1	<ul style="list-style-type: none"> グローバルロジスティクス概論 グループ討議（キックオフ） 	9/10（水） ※東京会場にて集合
2	<ul style="list-style-type: none"> 貿易の基本、FTA・EPA・経済安全保障、通関 輸出入業務、貿易実務 	9/11（火） 9/18（木） 9/19（金） ※東京会場にて集合
3	<ul style="list-style-type: none"> 海上輸送概論 各プレイヤーの役割、実務 	10/8（水） 10/9（木）
4	<ul style="list-style-type: none"> 航空輸送概論 航空輸送の実務 	10/16（木）
現地見学	<ul style="list-style-type: none"> 物流施設の見学（港湾・集合） 物流施設の見学（航空・オンライン） 	10/21（木） 11/18（火）
5	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーン可視化、最適化の手法 サードパーティロジスティクス（3PL） グループ討議 	10/17（金） 11/ 5（水） 11/ 6（木） ※下2日程は東京会場にて集合
6		

2. 2025年開催概要（後半テーマ）

後半の単元では、国際物流に関する応用知識を習得します。
最新動向を把握し、ケーススタディを通じて実践力を身につけます。

単元	テーマ	日程
6	<ul style="list-style-type: none"> 国際物流におけるリスクマネジメント BCP、ロスプリベンション、貨物保険 	11/20 (木) 11/21 (金)
7	<ul style="list-style-type: none"> 海外最新物流事情 (米国、欧州、中国、インド、ASEAN) 	12/ 4 (木) 12/ 5 (金)
8	<ul style="list-style-type: none"> 海外現地管理、駐在員としての役割 企業事例 (SCM改善、物流DX、海外物流体制構築、物流サステナビリティ) 海外駐在経験者による座談会 	2026年 1/14 (水) 1/15 (木)
9	<ul style="list-style-type: none"> グローバルロジスティクス改革 (ケーススタディ) 	2/ 5 (木) 2/ 6 (金) ※東京会場にて集合
—	資格認定証授与式	3/13 (金) ※東京会場にて集合

3. 受講者の声

本講座は、企業の国際物流をリードする実務家が集い、基礎から応用までを体系的に学びながら、人的交流を深める研鑽の場として活用されています。

受講者の声（抜粋・一部編集）

当社は、衣料品・住居品・食料品を提供する小売業として、
1920年の創業から続く「信頼と誠実」の精神のもと、よりよい商品の提供に努めています。
私の所属する海外部では、自社及びグループ関連会社の店舗に並ぶ商品や原料の一部を、
海外工場から直接輸入し、国内の共配センターへ納品するまでの貿易実務を担っています。
変化の激しい国際物流環境の**最新情報・仕組み**を知り、自社の仕組みの見直しや効率化のための
知見を拡げるため、サプライチェーンにおける国際物流改善の
基礎から応用まで総合的に学べる本講座を受講しました。
講座では、国際物流の経験に長けた講師陣から理論、知識、技術、見識を体系的に学んだ他、
最新の国際物流情報を織り込みながら、「あるべき姿」を目指す意識や姿勢を学ぶことができました。
また、**知識を得るだけではなく人脈や視野を拡げる機会**ともなり、講師の先生方からはもちろん、
立場や分野の異なる受講生同士の意見交換からも非常に刺激を受け、貴重な機会となりました。
現地見学以外はオンラインでの開催で、講義の時間帯も配慮されており、遠方からの受講者も多く、
私も時短勤務中ですが無理なく受講できました。ここ数年で、物流やロジスティクスがニュースなどでも大きく取り上げられ注目されるようになり、国内外問わずたくさんの課題があることを日々感じます。
本講座を通して学んだ知識や取り組み方に加え、今後も経験を積み重ねながら、
国際物流のスペシャリストとして社内外の国際物流・サプライチェーンの最適化を目指して参ります。

4. 「オンライン+集合」開催の特色

今期より、「オンライン+集合」開催とします。

講義はオンライン、演習指導は集合開催です。

運営事務局が常駐し、円滑な受講や人脈形成をサポート対応いたします。

【オンライン研修】

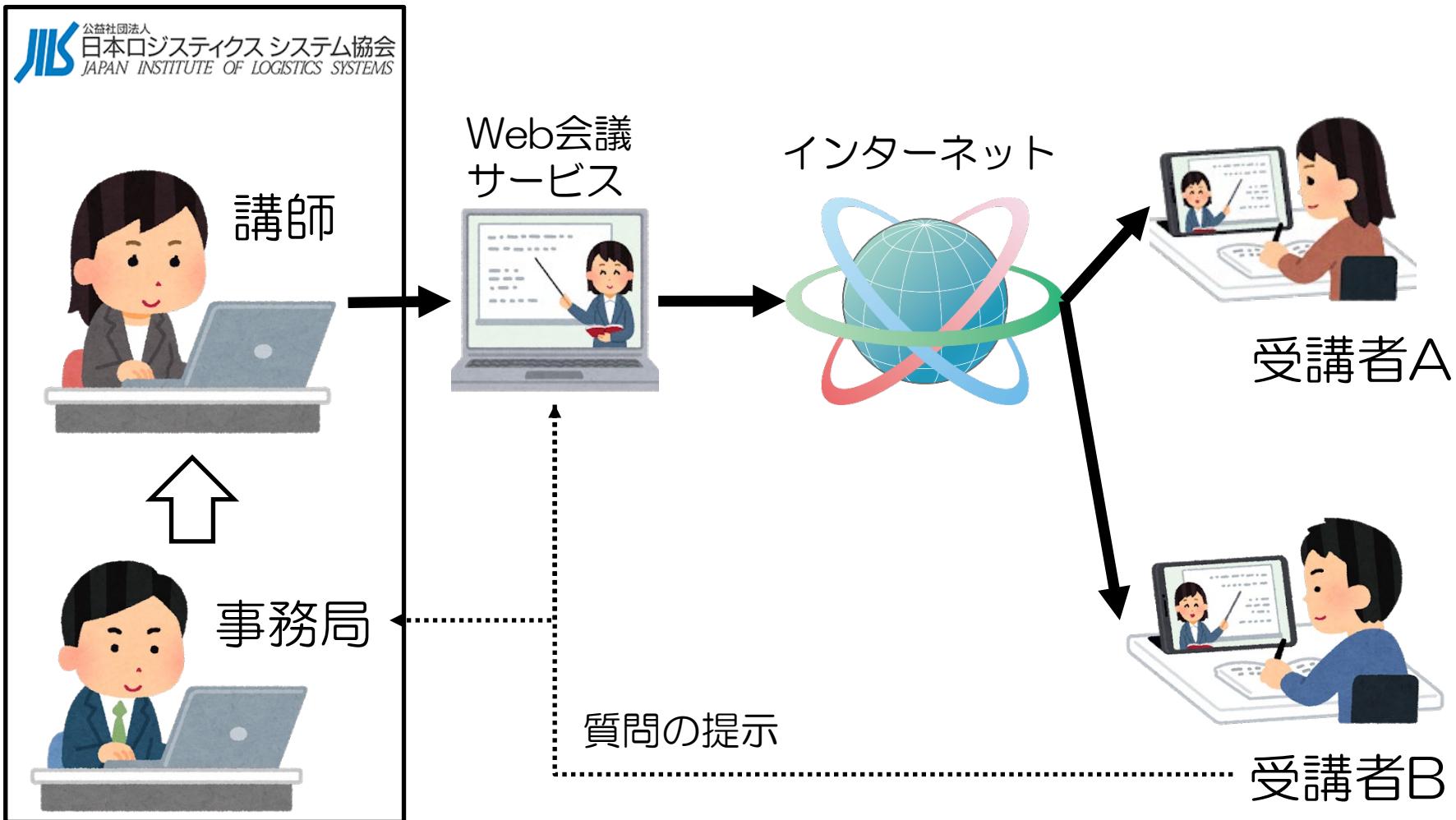
- ・オンラインでは、会場やオフィス以外からの場所（テレワーク中の自宅宅等）から受講することができます。また会期中に異動された場合でも受講を継続しやすくなります。
- ・講義の双方向性に留意し、その場の質問やコメントを受講者間で共有することで、新たな気づき、受講者が主体的に講義に参加できる環境を整備します。

【集合研修】

演習指導・グループワークは、JILS研修室（東京都港区海岸1-15-1）で開催します。経験豊富な講師による指導を受け、5名ほどのグループで議論いただきますが、発表・質疑を通じて学びと交流を深めます。

5. 講義イメージ（オンライン）

Web会議サービスを通じて、講義内容をライブ配信します。
受講者からの質問は、チャット（文字入力）等で受けつけます。



5. 講義イメージ（集合）

グループ討議を行い、各グループが全体へ成果を発表します。
他グループとの質疑応答や講師からの講評を通じて、国際物流に関する知見をさらに深めていきます。



グループ討議



全体発表

6. 資格認定について（1）

講座を修了し、合格基準を満たすと、日本ロジスティクスシステム協会（JILS）より、「国際物流管理士」の資格を授与します。

【参考：JILSの資格認定制度】

	名称	概要
階層別	ロジスティクス 経営士	経営の視点からロジスティクスを捉え、改革を推進することができるCLO (Chief Logistics Officer)
	物流技術 管理士	物流・ロジスティクスの専門知識や管理技術を有し、物流品質向上、物流効率化、コストダウン等を実現できるロジスティクスのプロフェッショナル
	物流技術 管理士補	物流・ロジスティクスに関わる基礎知識を有し、実務への応用の仕方を習得している次世代のロジスティクス・プロフェッショナル
テーマ別	国際物流 管理士	国際物流の専門知識を有し、グローバルレベルで全体最適を志向し、幅広い視点で新たな事業やサービスを企画し、実践することができる国際物流のプロフェッショナル
	物流現場 改善士	物流現場の現状を把握し、課題を解決するために定量データをもとに改善実行計画を立案し、メンバーと協力しあいながら改善を推進することができる物流現場の改善リーダー

6. 資格認定について（2）

4つの【修了基準】を満たしたうえで、2つの【合格基準】を満たすことを目指として、講座受講を進めて頂きます。

【修了基準】1) ~4) 全てを満たすこと

- 1) 14日以上の出席
- 2) 客観試験の受験
- 3) レポート試験（5回）の受験
- 4) 第9単元（ケーススタディ）の出席（2日間）

【合格基準】1) ~2) いずれも満たすこと

- 1) 客観試験及び各レポート試験が70点以上
- 2) （欠席減点を加味した）総平均点が70点以上



7. (お願い) 受講者環境の整備

受講にあたってはインターネットを利用できる環境をご用意ください。
Web会議サービスは、「Zoomミーティング」を利用します。

項目	概要
受講環境整備 (受講環境)	講義に集中できる物理的環境（会議室、在宅勤務等）の確保をお願いします。
受講環境整備 (ハードウェア)	<ul style="list-style-type: none"> パソコン、マイク、イヤホン、Webカメラ、インターネット環境 <p style="color:red;">※グループ討議等では、マイク、Webカメラを利用します。</p> <p style="color:red;">※通常の講義でもWebカメラONを励行します。</p>
受講環境整備 (ソフトウェア)	<ul style="list-style-type: none"> Zoomクライアントのインストール MS-Office（パワーポイント、エクセル、ワード） <p style="color:red;">※MS-Officeは、グループ討議（発表資料作成）で利用します。</p>
禁止事項	<p>資格認定講座の受講は、受講者当人に限定します。</p> <p style="color:red;">※配信コンテンツ、電子テキストの閲覧は受講者当人のみとしてください。</p> <p style="color:red;">※代理出席は認めていません。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 講座運営は、講座パンフレットに準拠して行います。 「受講規約（「JILSオンライン研修受講にあたってご了承いただきたいこと」）への同意が受講の前提となります。

8. お問い合わせ先

詳細は当協会ホームページにてご確認ください。
受講に関する不明点等は、気軽にお問い合わせください。
メール：ilm@logistics.or.jp

【国際物流管理士資格認定講座ホームページ】



第47期
「オンライン+集合」開催
国際物流管理士資格認定講座
International Logistics Master Course

開催日程 第47期(2025年度)
第1回: 1月26日(火) - 18日(木)・19日(金)
第2回: 2月2日(火) - 1日(水)・4日(土)
規則書類: 2月7日(水)午後1時より
第3回: 3月27日(木)・28日(金)
第4回: 4月24日(木)・25日(金)
第5回: 5月11日(木)・12日(金)
第6回: 6月14日(木)・15日(金)
第7回: 7月12日(木)・13日(金)

本講座ではこのような人材を育てます

- 国際物流のあらゆる立場から最新動向を理解し、海港でのサブプロセスを理解する人材
- 経営者として国際物流を含めた企業運営ができる人材
- 将来的に自社を経営していくプロフェッショナルマネージャーである人材

ぜひ、貴社内の国際ビジネス、国際物流、SCMIにかかる方へお読みいただきたい

開催申込書
<https://www.logistics.or.jp/education/ilm.html>

受講料
<https://www.logistics.or.jp/education/ilm.html>

【参考書籍】
国際物流学、グローバル企業論、物流実務論、SCMI等
国際物流実務、グローバル物流、国際オペレーション等、関連教科書等

公益社団法人
日本ロジスティクスシステム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

協会について イベント・講習

国際物流管理士資格認定講座

[トップ](#) > [講座・コース](#) > [国際物流管理士資格認定講座](#)

国際物流スペシャリストとして必要な専門知識と管理技術を総合的、体系的に学び、グローバル展開に不可欠な国際物流のスペシャリストを育成します。

最新の動向を踏まえつつ、広範な国際物流について概念から応用までわかりやすく解説し、企業事例や物流施設見学、グループ討議、ケーススタディなどを取り入れ、実務に直結するカリキュラムです。



■閉会(ご連絡事項)

- 本日のオンライン公開講義は以上で終了となります。
- 次回の説明会は、5月～6月ごろに予定しています。
- JILSの各種事業へのご参加、お待ちしております。

